

小竹町立病院に関する住民説明会

自治会

令和7年5月～7月

1. 小竹町立病院の無床診療所化と経営形態の見直し

小竹町長 井上 頼子

2. 小竹町の財政状況

小竹町総務課財政係長 松永 健作

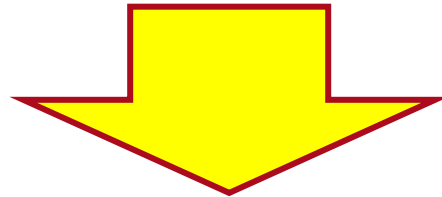
3. 小竹町立病院の現状

小竹町立病院 事務長 田中 広美

4. 質疑応答

小竹町立病院の無床診療所化と 経営形態の見直し

テーマ「人口減少・超高齢化社会を見据えた
持続可能なまちづくり」




持続可能な医療提供体制への転換を提案

1. 町立病院の現状と課題


- ① 小竹町と周辺地域の状況
 - ▶ 小竹町の人口は7,151人（令和2年国勢調査）で減少が続いており、高齢化率（42.2%）は近隣市町村の中では最も高い
- ② 直方・鞍手医療圏とその周辺の医療提供体制
 - ▶ 医療圏自体は基準病床数を下回る地域だが、近隣市町には様々な機能を有する医療機関があり、医療へのアクセスは比較的容易
- ③ 町立病院の経営状況
 - ▶ 常勤医不足、新型コロナの影響等により、平成25、30年度を除き経常収支比率が100%を下回る赤字経営が続いている
 - ▶ 小竹町は類似団体と比較して財政力指数が低く、将来負担比率が高いなど、病院だけでなく、町の財政も非常に厳しい

2. 町立病院が今後果たすべき役割及び機能（種類）

- ① 町立病院の患者像
 - ▶ 糖尿病等の生活習慣病の患者が多い
 - ▶ 手術や処置は少なく、比較的病状の安定した患者が多い
 - ② 今後町立病院が担うべき役割、機能
 - ▶ 民間では担えない機能や地域で不足する機能を補う
 - ▶ 限られた医療資源を最大限有効に活用
 - ▶ 地域包括ケアシステムの拠点となる施設
- 
- ③ 求められる機能、役割を果たすための施設の種類の種類
 - 無床診療所+介護系サービス（訪問・通所）**
 - ▶ 病院維持は困難（人口減少、医師不足、町の財政）
 - ▶ 入院機能は近隣施設に委ね、訪問系サービスを強化

3. 経営健全化に向けた経営形態

現在は地方公営企業法の全部適用（自治体直営）

- ▶ 提供するサービスの性格によって適切な経営形態は変化し得る
 - ▶ どの経営形態が最も良いかという点において成案を得るには至らず
- 
- ▶ 過去幾度となく経営改善の問題提起や改善提案がありながらも所期の効果が上がっていない
 - ▶ その間外部環境はさらに厳しくなり、町の財政もゆとりがない

指定管理者制度の導入や民間譲渡等の**民営化の検討**を

- ▶ これ以上の自治体直営による運営は困難
- ▶ 引き受け手があれば、民間の経営手法の導入を検討されたい

1. 病院（56床）を無床診療所化

- 入院機能は近隣医療機関に委ね、外来機能に加えて訪問系サービスの充実を図る
- 「地域包括ケアシステム」の拠点とすべく、近隣の医療機関や介護施設との連携を強化を推進

2. 指定管理者制度を導入

- 現在は町直営であるが、指定管理者制度を導入し、公設民営の経営形態に変更
- 民間的な経営手法を取り入れ、経営の健全化、サービスの質の向上を図る

3. 今後のスケジュール

年	2025年 (R7)												2026年 (R8)						2027年 (R9)													
年度	2024年度 (R6)			2025年度 (R7)									2026年度 (R8)																			
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
方針	●		●																													
準備				新体制に向けた準備																												
説明会			委員会答申																													
条例																																
新体制																																

● 病院廃止・診療所設置条例議案上程

● 施政所信表明

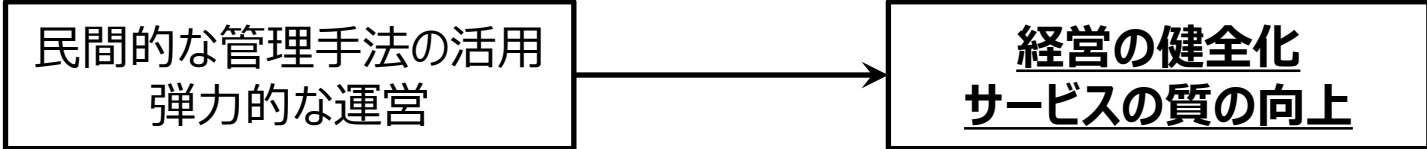
● 住民・職員説明会

● 委員会答申

● 新体制での運営のスタート（令和8年度中を目標）

	自治体直営	指定管理者
病院開設許可事項 (病床数、診療科等)	<input type="checkbox"/> 市町村長＝開設者（開設者名で許可申請）	<input type="checkbox"/> 同左
収入の取扱	<input type="checkbox"/> 自治体の会計で収受	<input type="checkbox"/> 利用料金制を採用することにより、指定管理者側の会計で収受
収入に係る料金設定 (室料、予防接種など)	<input type="checkbox"/> 自治体の条例・規則により設定	<input type="checkbox"/> 指定管理者から起案し、市町村側の許可
職員の人事	<input type="checkbox"/> 基本的に自治体側で雇用 <input type="checkbox"/> 自治体の人事規定に基づく	<input type="checkbox"/> 指定管理者側で雇用 <input type="checkbox"/> 指定管理者の人事規定に基づく
固定資産の取扱	<input type="checkbox"/> 自治体の公有財産	<input type="checkbox"/> 原則、自治体の公有財産
地方財政措置 (地方交付税等)	<input type="checkbox"/> 適用される	<input type="checkbox"/> 自治体直営と同様、適用される
運営赤字への対応	<input type="checkbox"/> 一般会計繰入等	<input type="checkbox"/> 指定管理の協定書に基づく

**指定管理者制度の
主なメリット**



小竹町の財政状況

- 令和5年度は歳入決算額が約71億円、歳出決算額が約70億円で、差し引き約1億円の黒字となっている。そのうち、約6千万円を財政調整基金に積み立て、残りを翌年度に繰り越しとしている。
- 昨年度に比べ、歳入、歳出ともに大きく増加しているが、主な要因は七福町営住宅の建替によるもの。

① 決算額

(単位：千円、%)

区分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (歳入は(B) - (A)、歳出は(A) - (B))	対予算比 (B) / (A)
歳入	7,717,214	7,139,172	△578,042	92.5%
歳出	7,717,214	7,029,179	688,035	91.1%
差引	0	109,993	翌年度へ繰り越すべき財源 3,252 財政調整基金積立 60,000 翌年度へ繰越 46,741	

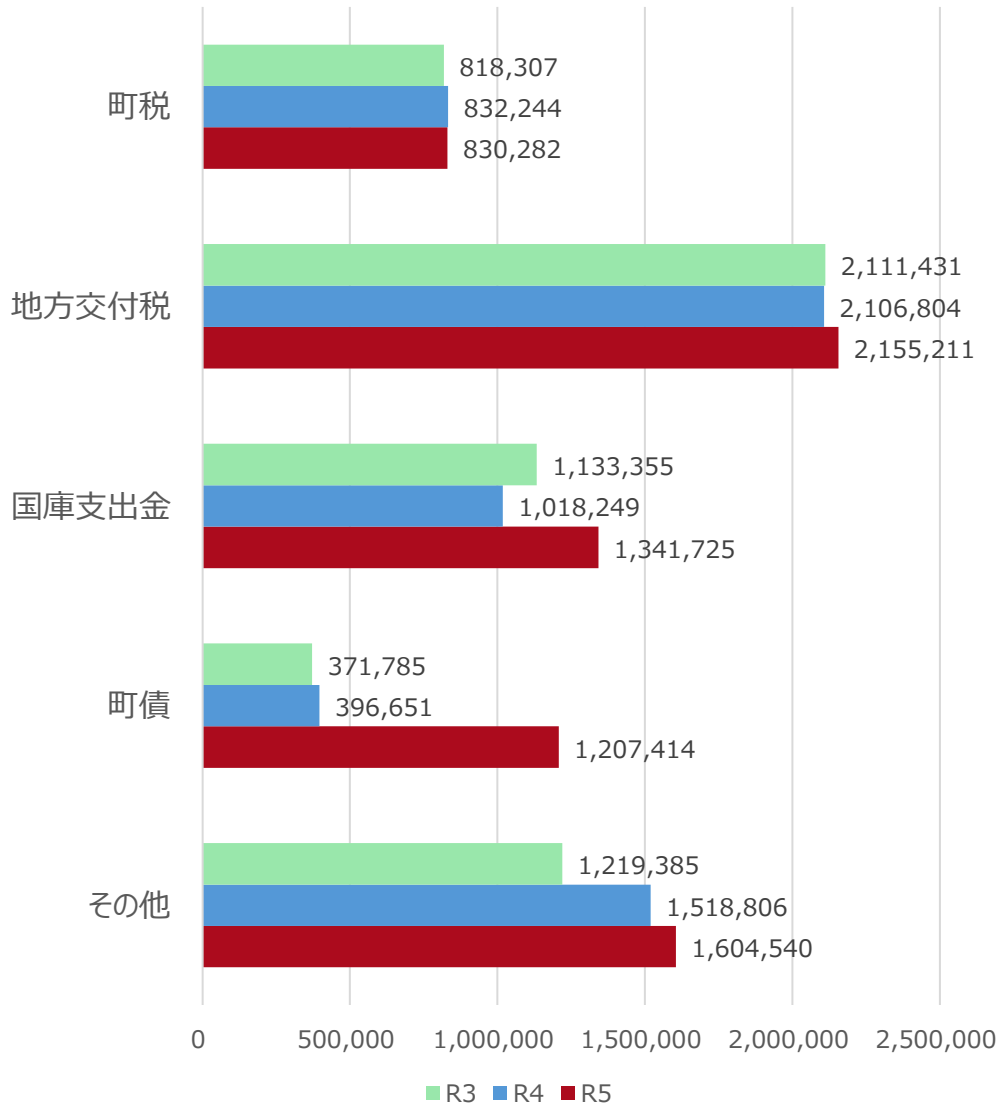
② 決算規模の推移 (対前年度比較)

(単位：千円、%)

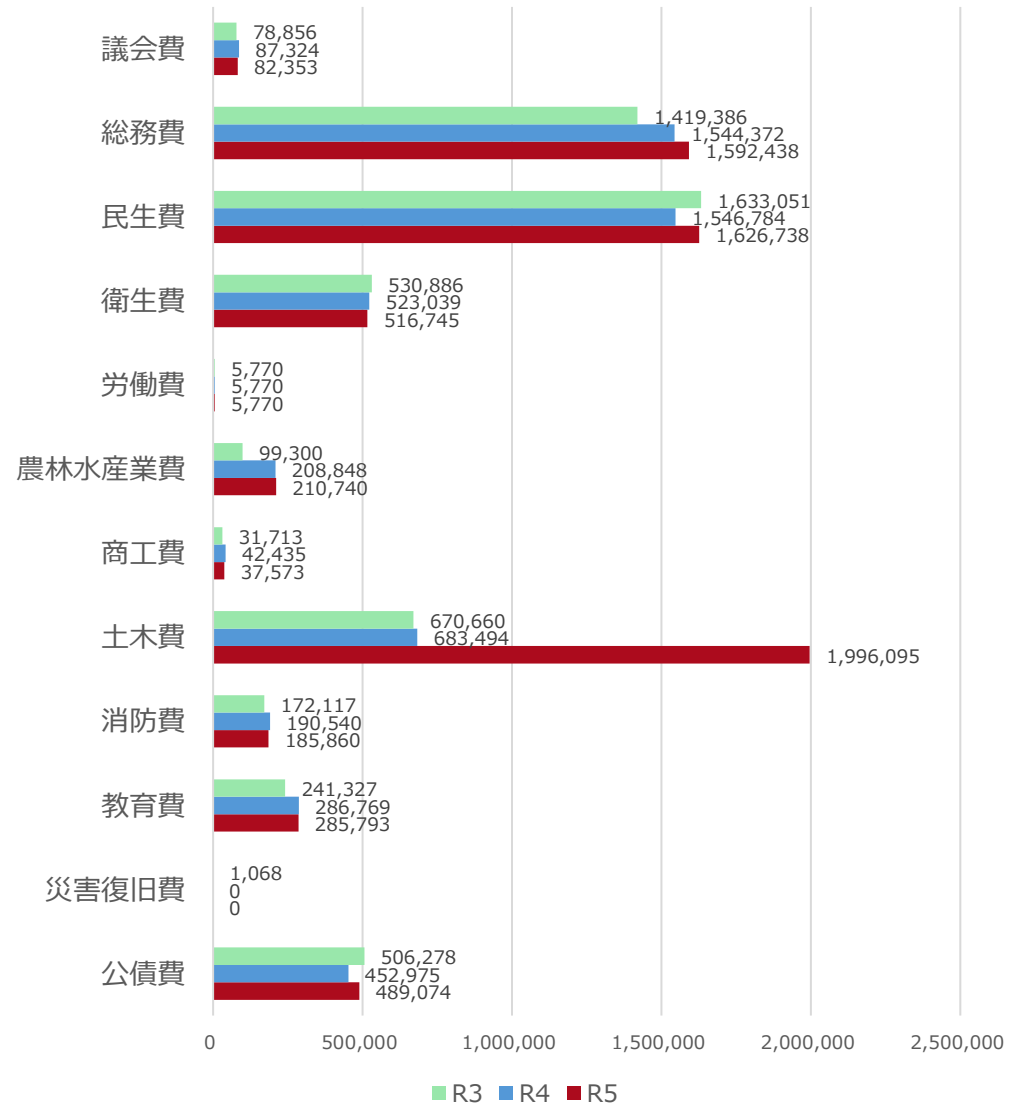
区分	当初予算額	補正予算額	繰越明許費	最終予算額	歳入決算額 (a)	歳出決算額 (b)	歳入歳出 差引額 (c) (a) - (b)	翌年度繰越 すべき財源 (d)	実質収支 (e) (c) - (d)
令和5年度 (A)	7,378,662	322,784	15,768	7,717,214	7,139,172	7,029,179	109,993	3,252	106,741
令和4年度 (B)	5,523,180	357,814	111,913	5,992,907	5,872,754	5,572,350	300,404	213	300,191
比較 (A) / (B)	133.6%	-	14.1%	128.8%	121.6%	126.1%	36.6%	1526.8%	35.6%

(単位：千円)

歳入款別比較表

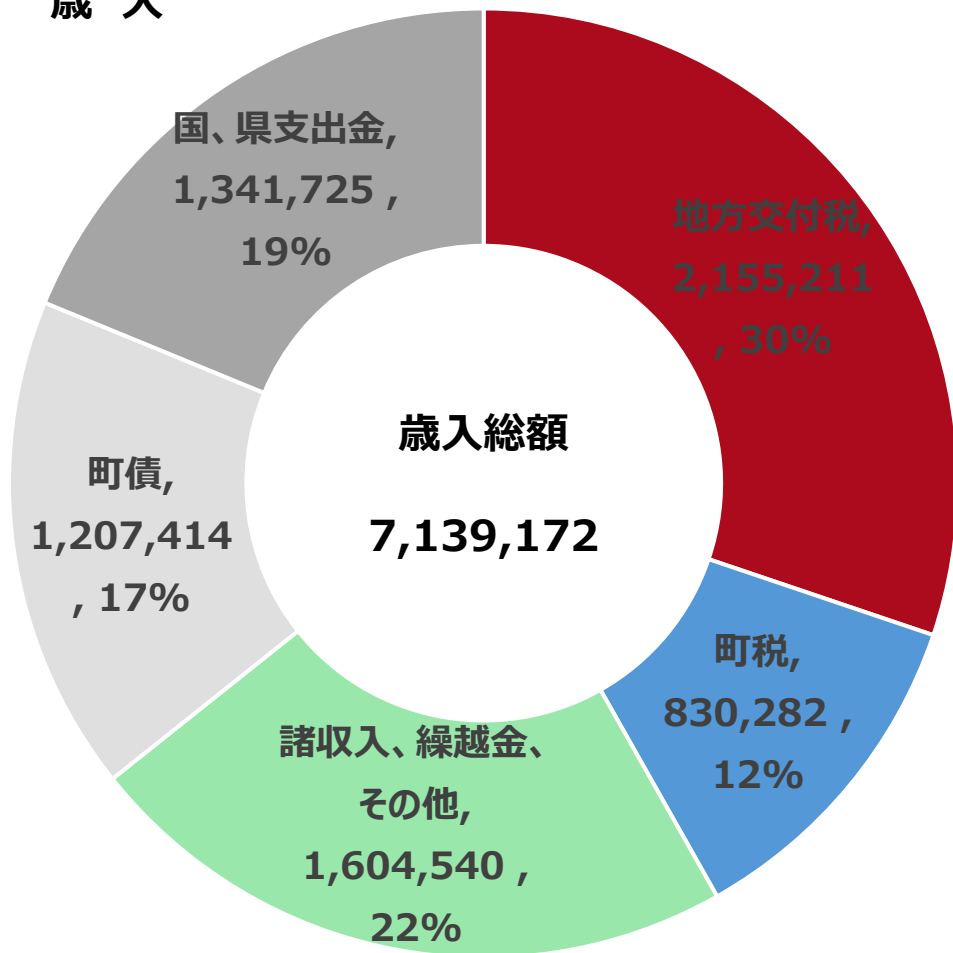


歳出款別比較表

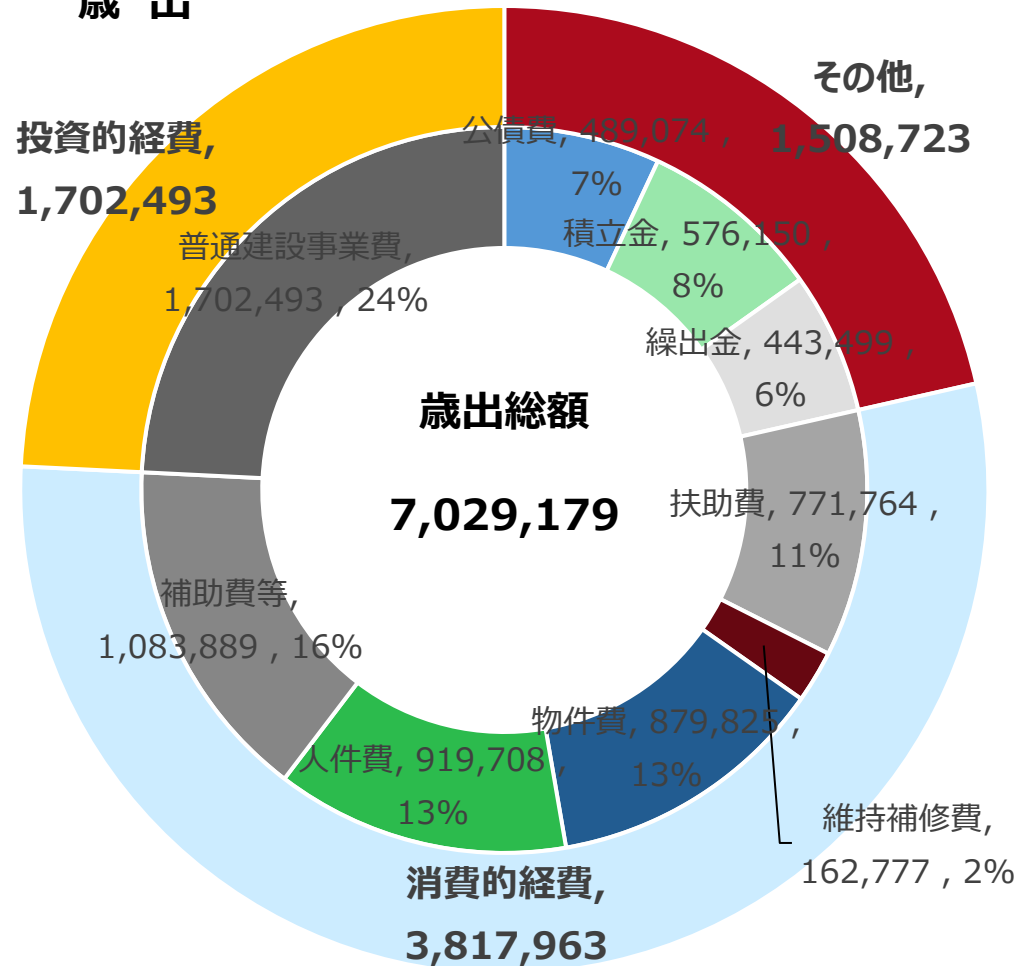


(単位：千円)

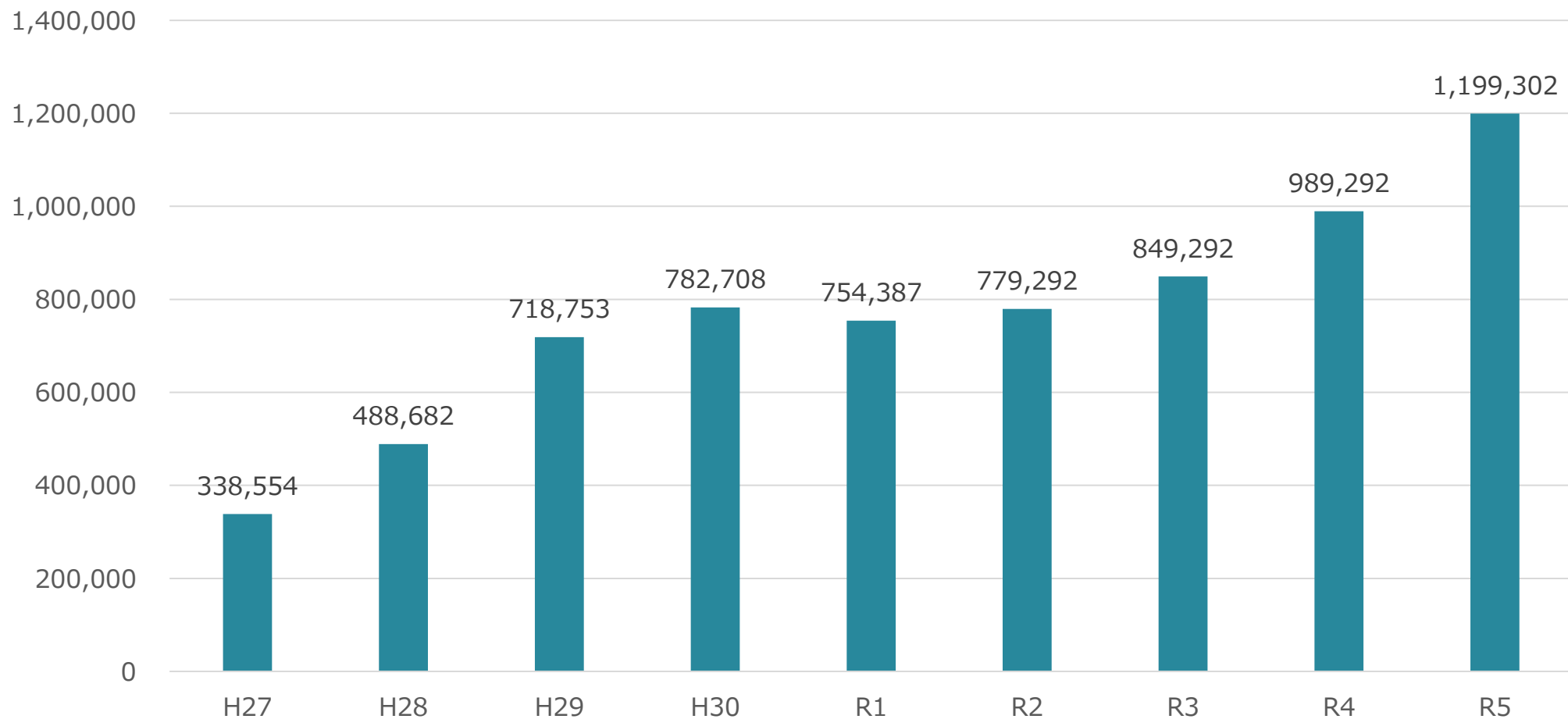
歳入



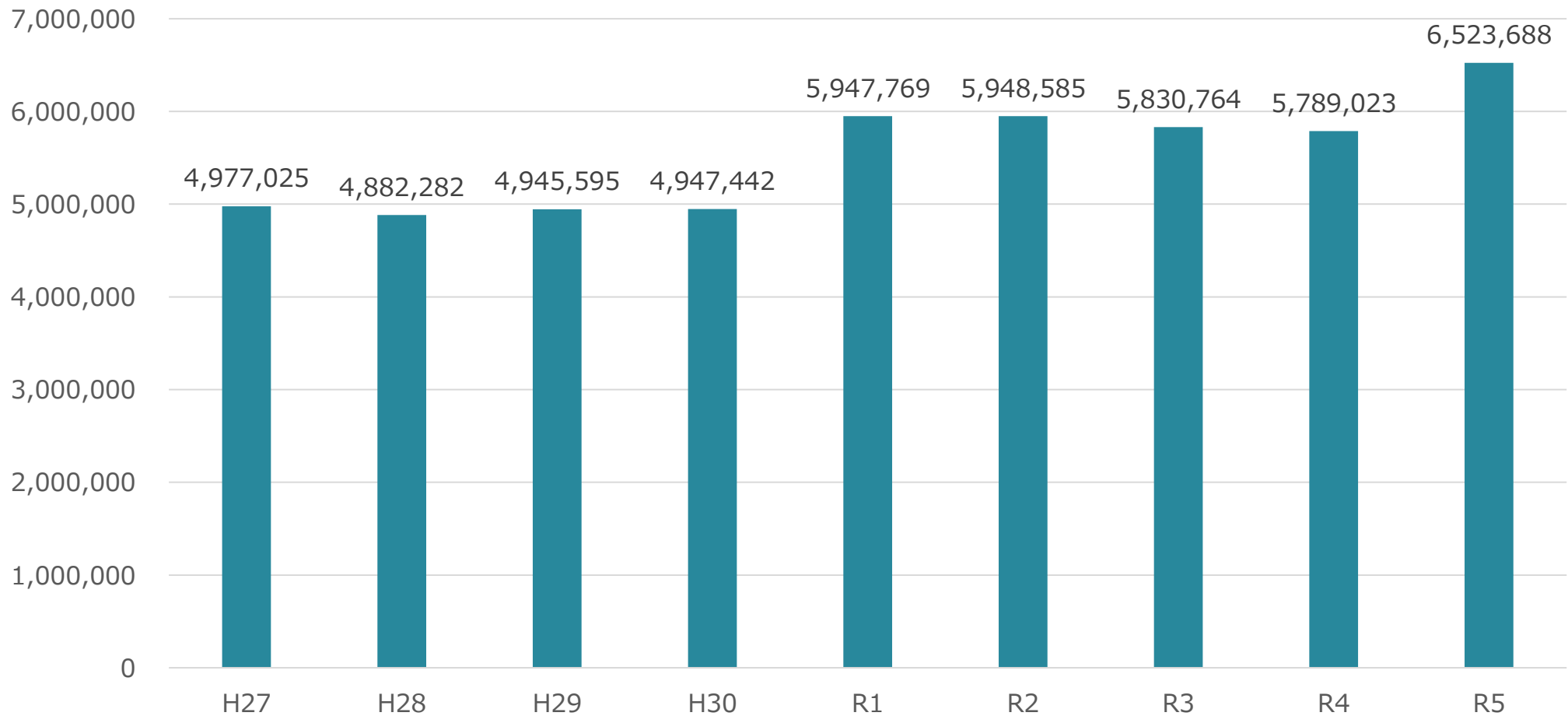
歳出



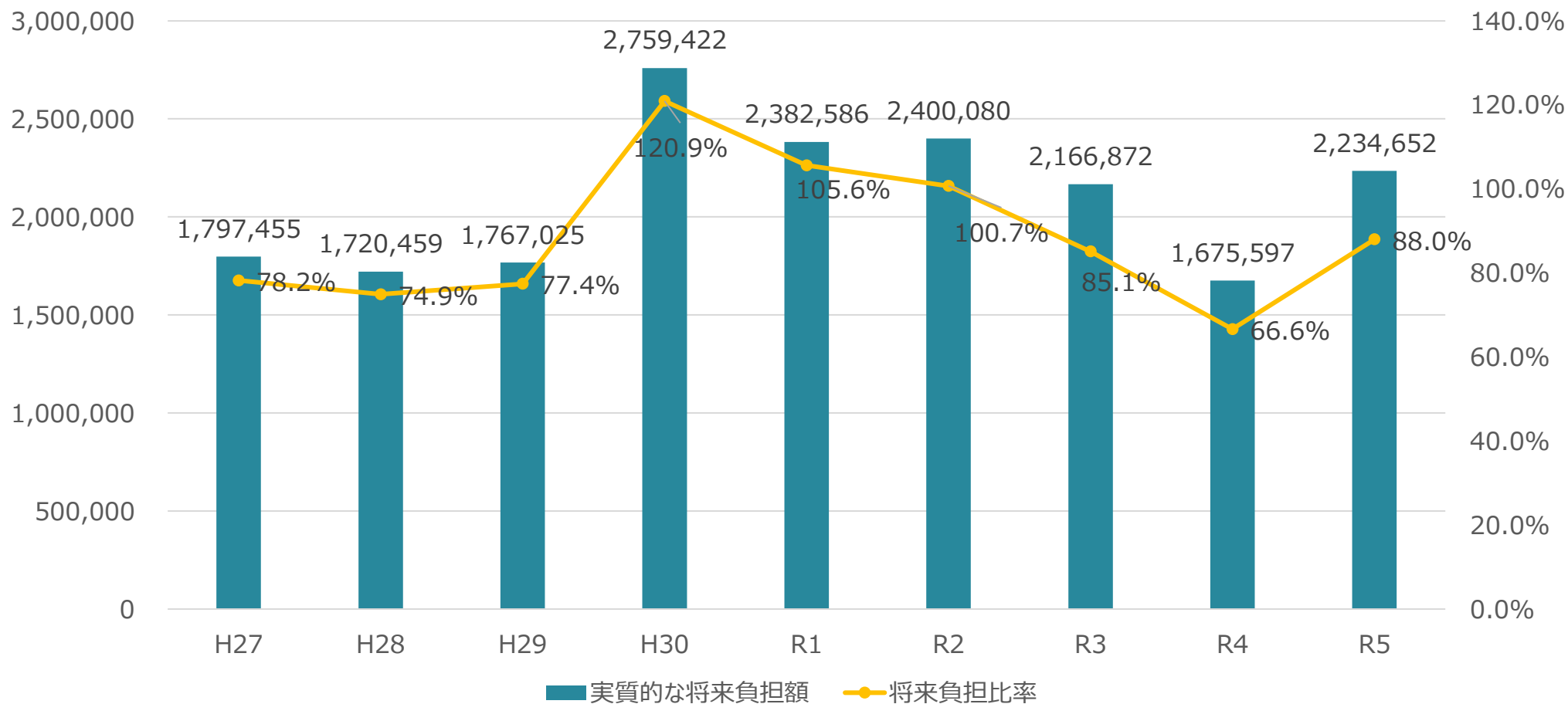
- 財政調整基金（地方公共団体の貯金）残高は、平成27年度より増加傾向であり、令和5年度は昨年度比約2億円増加。主な要因は、地方交付税の増額が大きい。
- 令和6年度は、小竹町立病院への繰出額の増加に伴い、約1億1千万円程度の減少となり、令和7年度以降も公債費や町立病院の繰出金の増加が続くと、基金残高の減少する可能性がある。



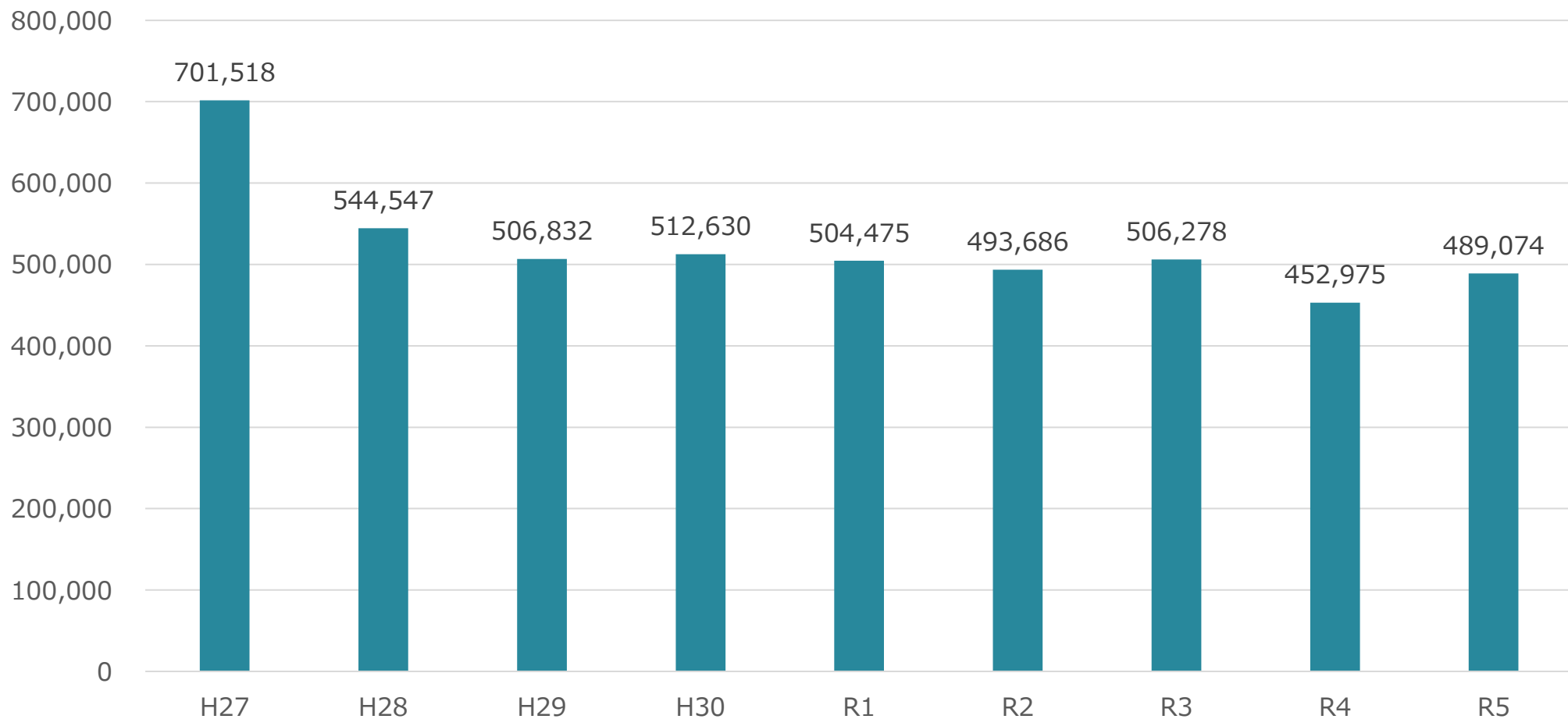
- 地方債（地方公共団体が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務）残高は、平成27年度より増加傾向が続いている。
- 令和5年度は昨年度より約7.3億円増加となり、令和6年度についても増加が見込まれる。



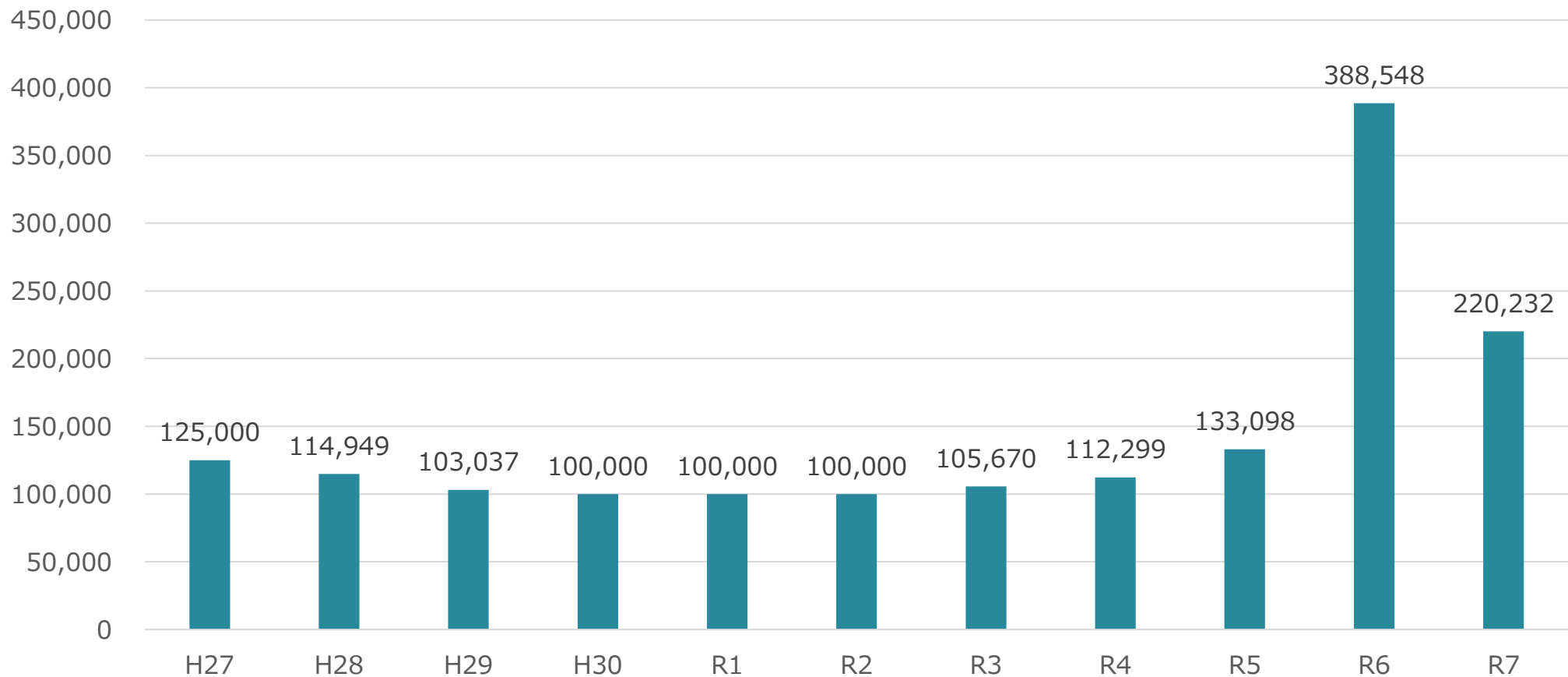
- 将来負担比率（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合）は高い水準で維持。令和4年度は66.6%まで減少したが、令和5年度には88.0%まで上昇。
- 福岡県内町村においても高い数値となっている。



- 公債費（町の借金を返済する元利償還金と一時的な借入れをした際の支払利息）令和4年度まで減少傾向であったが、令和5年度は昨年度に比べ約4千万円増加。
- 令和6年度はさらに約2千万円増加し、令和9年度には約5億7千万円まで増加する見込み。

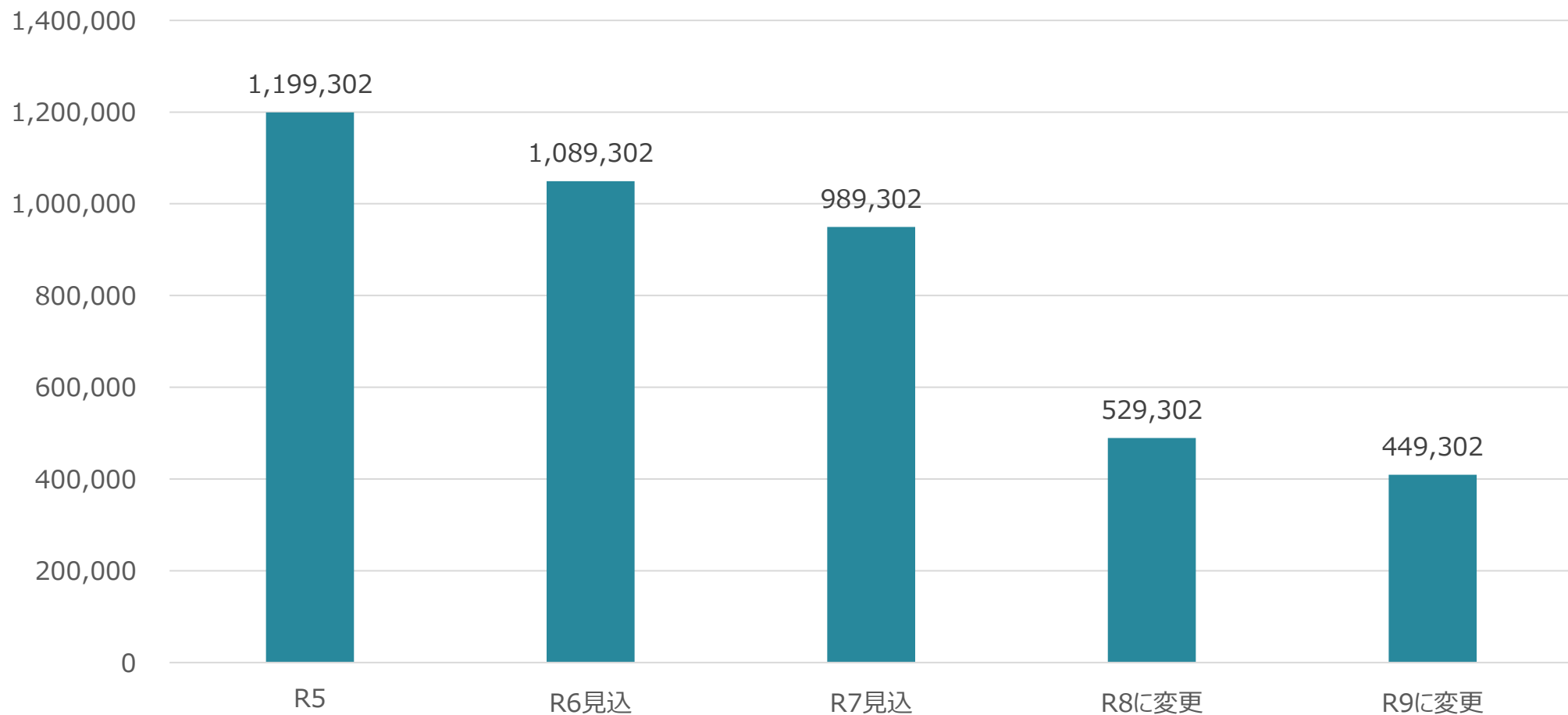


- 病院事業会計への繰出金は近年急上昇しており財政を圧迫している。令和6年度は経営状況の悪化や財政健全化法上の資金不足比率の改善のため、令和5年度から2億6千万円増額した3億9千万円の繰出しを実施。また、令和7年度予算においても約2億2千万円を計上している。
- 現状の経営状況が続けば令和8年度以降も同規模の繰出しが必要となる。これは町民一人当たり換算すると、約1万4千円を毎年病院の維持のために利用している状況となっている。



病院の経営形態を変更した場合の財政調整基金残高

- 病院の経営形態を変更（診療所化等）した場合は、病院が抱えている国や銀行等からの借入金の返済のため、一時的に約4億6千万円が必要となる。
- 現在財政調整基金は10億円以上あり対応可能だが、病院の繰出しは毎年必要となるため、1年遅れるごとに財政調整基金が減少することが見込まれる。



小竹町立病院の現状



病院規模	
竣工年月	昭和61年12月（築39年）
敷地面積	9, 7 3 6㎡
延床面積	2, 4 5 1㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
駐車場台数	100台
主な医療機器	CT装置、X線透視装置、生化学自動分析装置、内視鏡システム、X線撮影装置、電子カルテシステム、解析付心電計、超音波治療器、電子式パイロメーター、グルコース分析装置、超音波双方向血流計等



病棟



受付



放射線科



リハビリテーション科



検査科

小竹町立病院は、当地に開設して以来100年を迎え、地域の医療、保健、福祉の連携体制のかなめとして、医療の質および安全性の向上に努め、住民から信頼され親しまれる病院を目指しています。

病院概要	
名称	小竹町立病院
所在地	福岡県鞍手郡小竹町大字勝野1191番地
開設者	小竹町
法適用	地方公営企業法の全部適用
許可病床数	一般56床（地域一般入院基本料3）
医療機能	救急告示病院、病院群輪番制病院、労災指定病院 等
併設機能	—
職員数	35人（医師 2人、看護職 19人、医療技術職 12人、事務職 2人）

標榜診療科		
内科	糖尿病代謝内科	消化器内科
リハビリテーション科		

施設基準	
地域一般入院基本料3（15：1）	入院時食事療養費（I）
看護補助加算I	薬剤管理指導料
データ提出加算	後発医薬品使用体制加算1
診療録管理体制加算2	検体検査管理加算
重傷者等療養環境特別加算	褥瘡患者管理加算
救急搬送患者地域連携受入加算	栄養管理実施加算

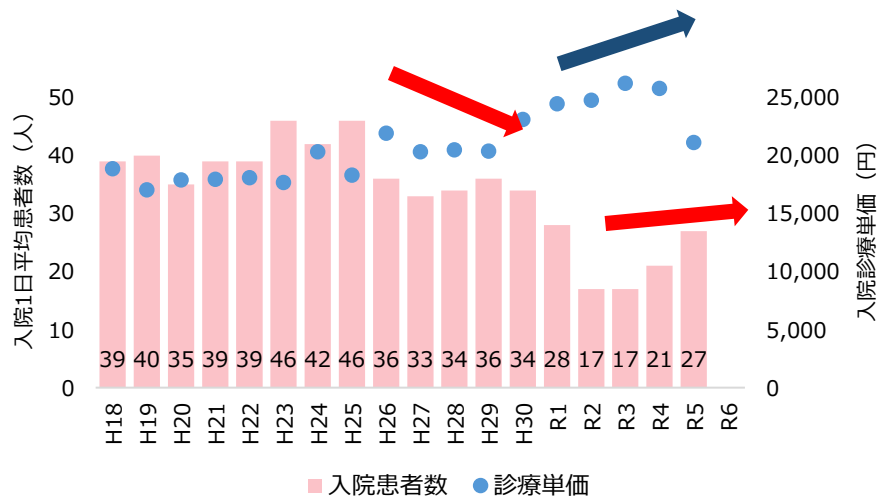
基本理念・基本方針
町立病院は、住民の健康な生活を守るという町の医療施策を実現する使命があります。地域の医療、介護、保健、福祉の連携体制のかなめとして、医療の質及び安全性の向上に努め、住民から信頼され親しまれる病院を目指します。
1. 私たちは、常に優しい心で人に接し、地域住民の皆様との人間味あふれる信頼関係を大切にします。
2. 私たちは、医療の使命を果たす職場集団として、チームワークを大切にして、互いに協力しあい、病院の発展と互いの向上に努めます。
3. 私たちは、全職員がコスト意識を持ち病院経営の健全化に努めます。

沿革	
大正7年9月	勝野村立伝染病院開設
昭和36年5月	病床数を40床とし、小竹町立病院と改称
昭和40年4月	病床数を56床に増床
昭和61年12月	移転・新築（昭和62年1月より新病院での診療開始）
平成23年5月	リハビリテーション科開設
平成30年2月	13：1入院基本料（地域一般入院基本料2）
5月	地域包括ケア入院管理料2（10床）
令和4年10月	15：1入院基本料（地域一般入院基本料3）

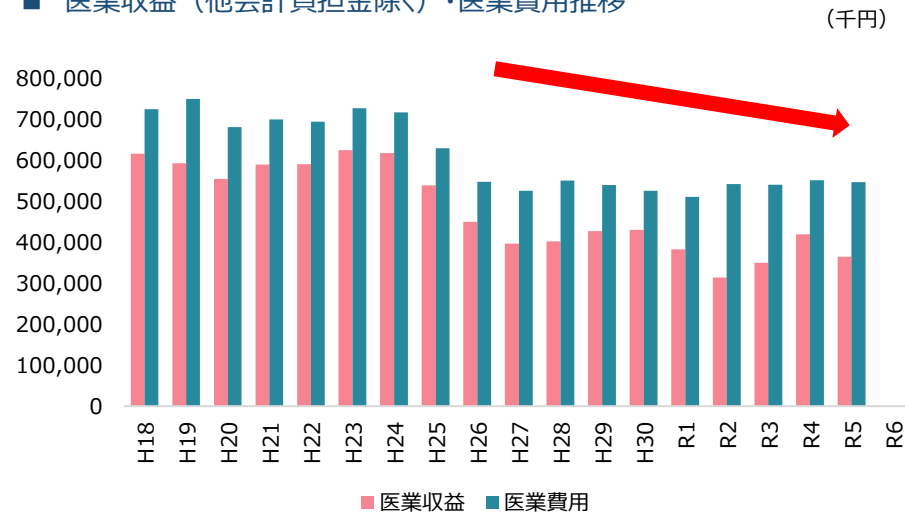
小竹町立病院の周辺環境			
面積	14.18km ²	診療所	4施設
人口（2025.5月）	6,846人	歯科診療所	4施設
高齢化率	42.30%	入所系介護施設数	9施設
人口増減率*	-8.44%	通所系介護施設	5施設
病院数	1施設	訪問系介護施設	4施設

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総収益	523,023	546,838	540,324	492,923	426,861	462,849	527,131	508,540
医業収益	460,472	486,796	489,792	443,638	375,683	410,223	486,810	430,930
入院収益	257,390	269,457	287,057	247,873	153,995	161,789	198,750	211,496
外来収益	130,053	141,549	124,007	113,197	104,711	106,178	135,039	118,375
その他医業収益	73,029	75,790	78,728	82,568	116,977	142,256	153,021	101,059
医業外収益	62,255	59,253	48,401	48,077	43,177	43,619	40,321	54,889
他会計補助金	0	4,283	2,104	3,847	2,549	2,651	200	394
他会計負担金	42,041	36,869	29,320	31,269	32,637	35,884	26,489	41,080
長期前受金戻入	13,689	13,847	12,890	11,586	7,493	4,731	13,222	12,744
その他医業外収益	6,525	4,254	4,087	1,375	498	353	410	671
特別利益	296	789	2,131	1,208	8,001	9,007	0	22,721
総費用	587,303	551,062	538,417	526,556	571,525	550,418	567,038	559,153
医業費用	549,298	538,748	524,319	509,294	540,797	539,521	550,082	545,516
職員給与費	409,496	389,001	397,802	392,882	399,724	414,888	429,521	426,654
材料費	50,004	47,310	39,958	35,125	32,244	31,787	38,698	35,568
減価償却費	22,124	22,123	21,046	20,842	16,502	25,028	23,815	22,939
経費	64,959	79,055	64,509	59,694	91,632	67,269	57,400	59,753
資産減耗費	550	208	116	110	176	126	6	211
医業外費用	11,303	11,213	10,679	9,978	20,027	9,053	12,148	12,634
特別損失	26,702	1,101	3,419	7,284	10,701	1,844	4,808	1,003
経常利益（損失）	-37,874	-3,912	3,195	-27,557	-141,964	-94,732	-35,099	-72,331
当年度未処分利益剰余金（累積赤字）	-197,922	-202,147	-200,240	-233,873	-378,537	-466,105	-506,012	-556,625
一般会計からの繰入金	114,949	103,037	100,000	100,000	100,000	105,670	112,299	133,098
国からの交付税（算定額）	129,293	119,549	114,172	115,878	116,989	121,854	111,796	108,400

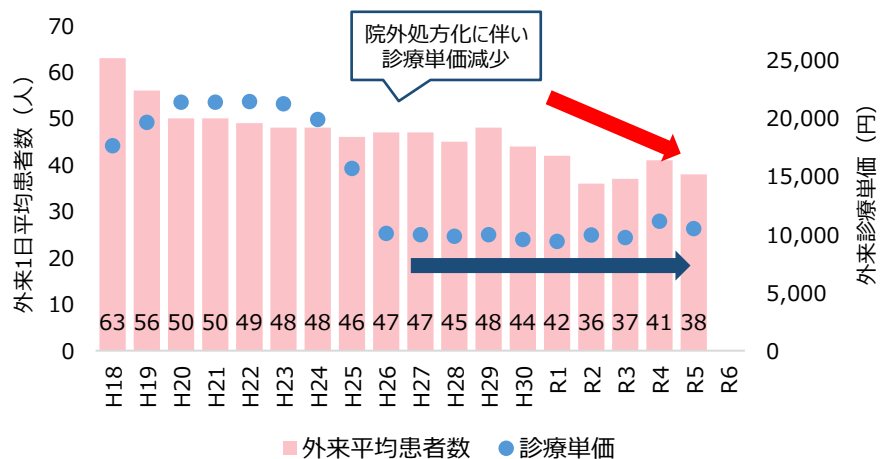
■ 1日平均入院患者数・診療単価推移



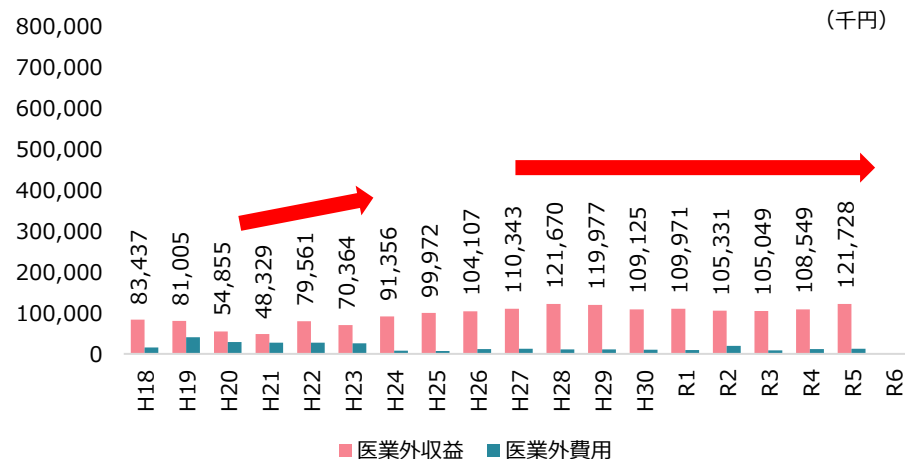
■ 医業収益（他会計負担金除く）・医業費用推移



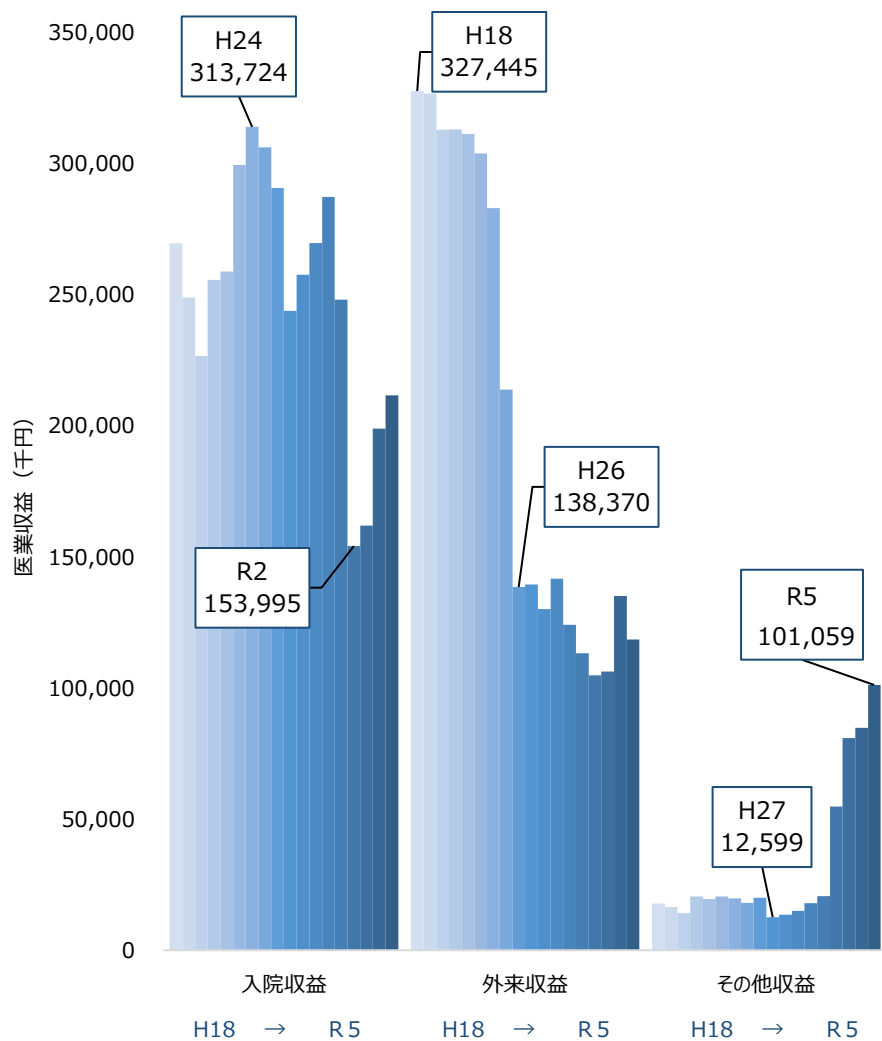
■ 1日平均外来患者数・診療単価推移



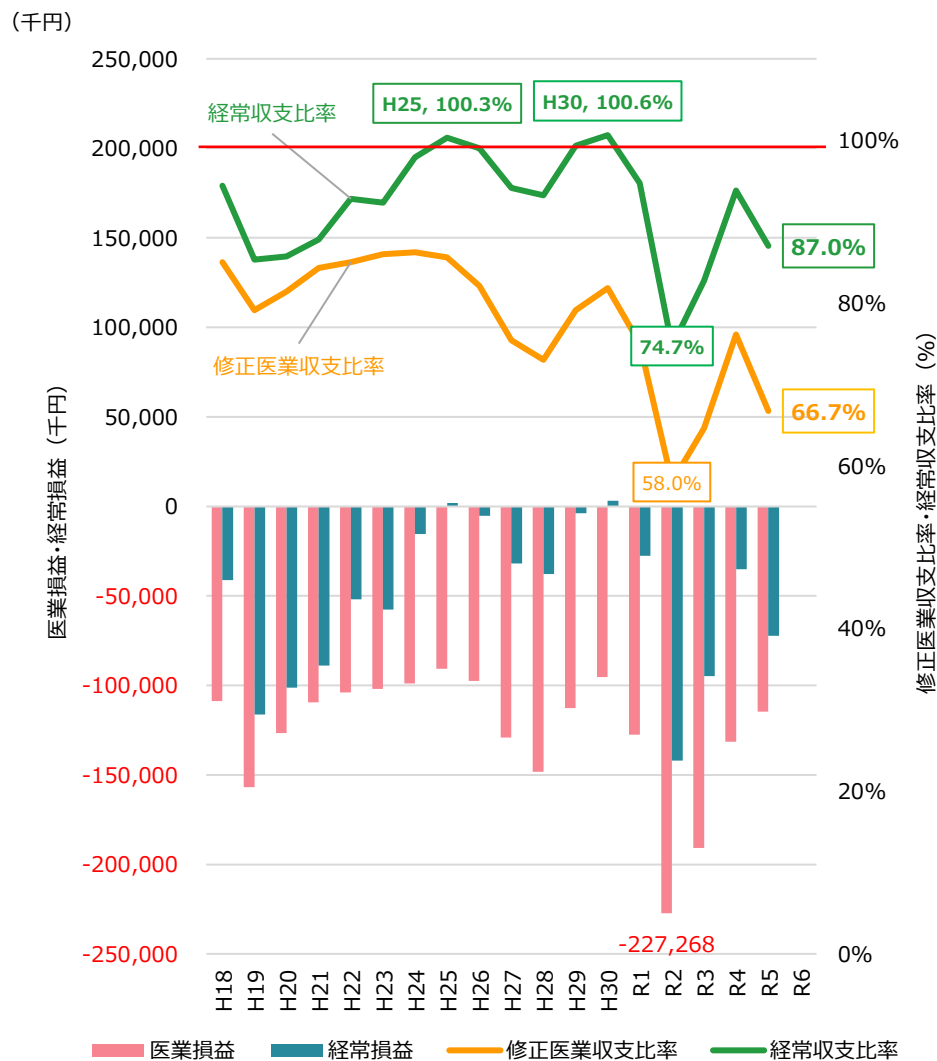
■ 医業外収益（他会計負担金含む）・医業外費用推移



■ 医業収益内訳推移

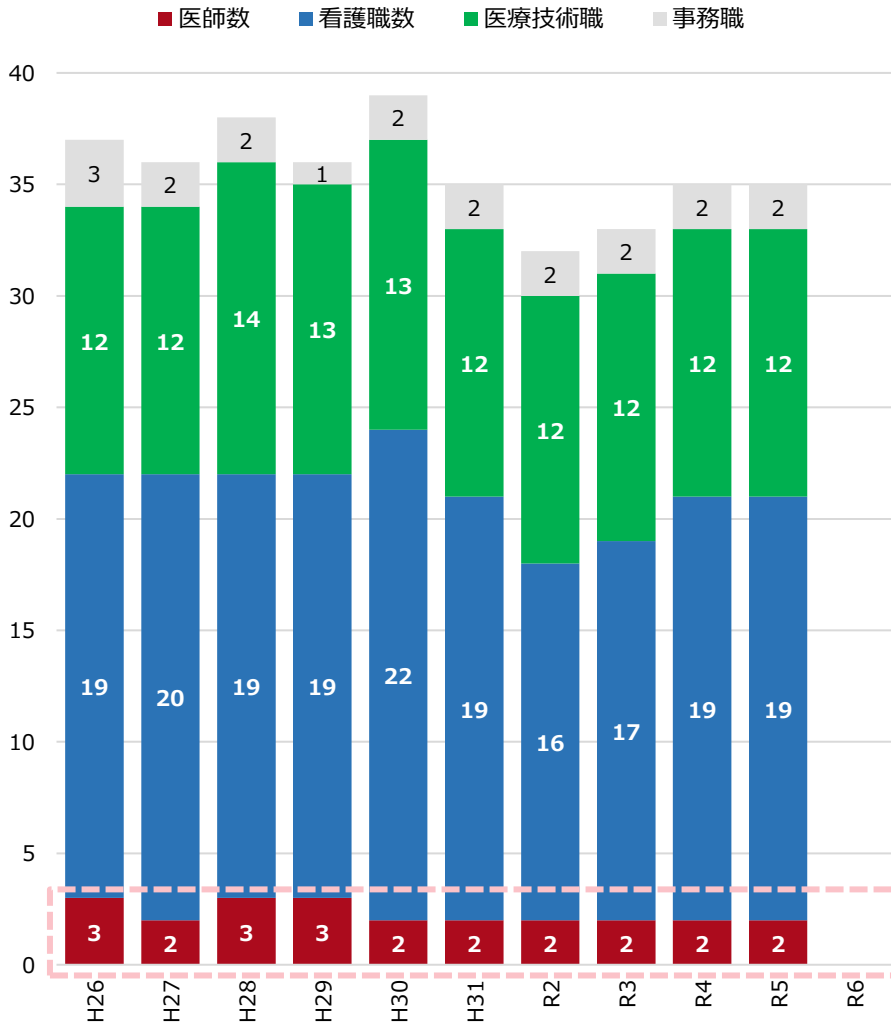


■ 医業損益・経常損益/修正医業収支比率・経常収支比率推移

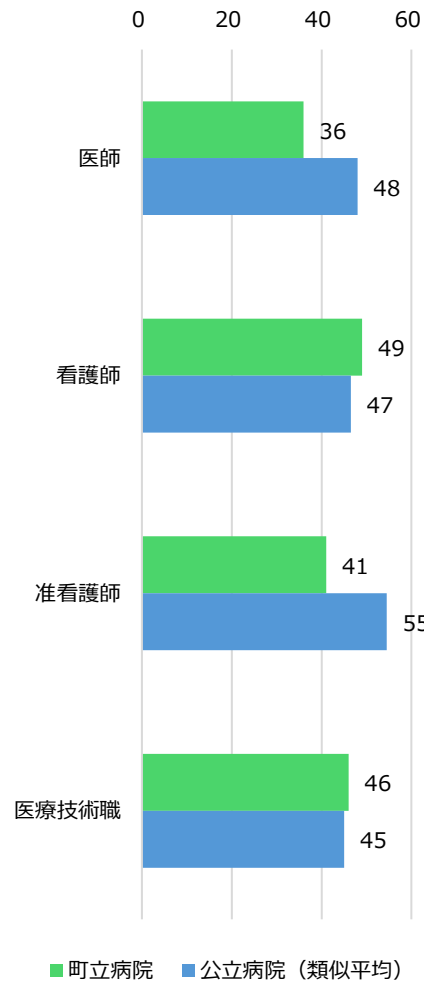


- 令和元年度以降、常勤医師数は2名で推移しています。
- 100床あたりの職員数は准看護師を除いては、平均値を下回っている状況です。

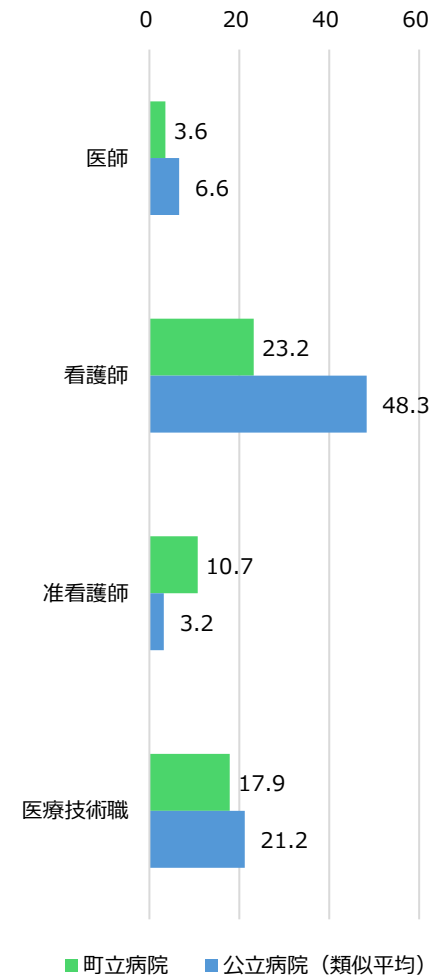
■小竹町立病院 職種別職員数推移



■職種別平均年齢比較



■職種別100床あたりの職員数



質 疑 応 答